

# 地域の未来は自ら創ろう!

## 国際育成プログラムの中学生と土木技術者との対話

地球規模で気候の変化、水や食料の危機が心配されています。日本国内では、人口減や公共施設の維持管理の対策も着々と進める必要があります。

足元から地球までの広い視野に立って、地域の未来は誰がどう作っていくのか。

宗像での国際的に活躍するような人に育つプログラムの中学生たちと、土木技術者が対話しながら考えていきます。

世界遺産に登録予定地がある宗像市域を、山川海までの水の循環系ととらえ、歴史文化・景観・自然を守りながら人間社会と両立させる方法、技術を考えます。



宗像の釣川流域と玄界灘沿岸

日時／平成**28**年**12**月**3**日**土**

主催／土木学会西部支部

共催／宗像市・宗像国際環境会議

- 探訪地／吉武、釣川流域、さつき松原
- シンボ会場／海の道 むなかた館

### スケジュール

- |             |  |
|-------------|--|
| 9:00~12:00  | エクスカーション(バス見学、要事前申し込み)                           |
| 13:00~14:30 | 土木学会西部支部等の技術者による土木技術の解説<br>水循環、自然再生、地域の土木施設の維持管理 |
| 14:40~16:00 | 中学生と技術者、参加者のグループ討議                               |
| 16:00~17:00 | 全体発表、討議  |



沖ノ島(おきのしま)は、福岡県宗像市に属する、九州本土から約60キロメートル離れた玄界灘の真っ只中に浮かぶ周囲4キロメートルの孤島である。宗像大社の神領で、沖津宮(おきつぐう)が鎮座する。2015年度のユネスコへの世界文化遺産国内推薦候補となること、国の文化審議会世界文化遺産・無形文化遺産部会で決定しました。

企画連絡先／九州大学大学院工学研究院環境社会部門生態工学研究室 准教授 清野聡子  
〒819-0395 福岡市西区元岡744

九州大学大学院工学研究院 環境社会部門 生態工学研究室

Tel/Fax.092-802-3437 seino@civil.kyushu-u.ac.jp